

2017年(平成29年)3月1日(水) 第31回 例会 (通算2737回)



人類に
奉仕する
ロータリー

RI 会長: ジョン・F・ジャーム

Weekly Report No.2617

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ



地区ガバナー: 上山 昭治氏

「出会いを大切に」

ロータリーレート \$1=¥116

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1987~1988年度



二十七代会長 宮城 辰雄

副会長	田場 恵順	幹事	勢理客 吉雄
副幹事	糸洲 長勇	会計	富川盛博・山城明
会場監督	浦添 為尚	クラブ奉仕	田場 恵順
社会奉仕	守下 直克	職業奉仕	大濱 正良
国際奉仕	杉本 甲子男		

- 稚内・稚内南 RC を訪問、交流の例会に招かれる
- 沖縄分区ゴルフ同好会石垣島大会をホストする
- 「一般公開例会」(株)沖縄銀行・瀬長浩氏をお招きして、「帰属問題の背景について」講演(87.10.9)
- ポリオ・プラス街頭募金活動(石垣市新栄公園)
- 「アジアの民族芸能祭会場」で地区意義ある業績賞を受賞
- 第1回我がまち再発見フォトコンテスト開催

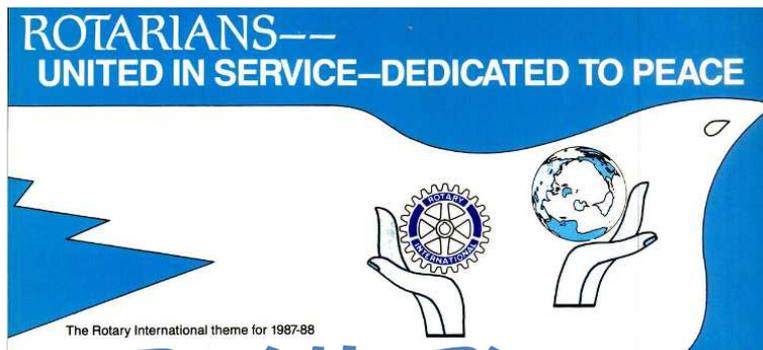
《社会情勢》 1988年

- ・新空港着工また持ち越しに
- ・与那国町が台湾貿易にすべりだす
- ・パイン、牛肉などの自由化決まる
- ・厳しさ増す八重山観光、正念場に
- ・アーケード完成
- ・八重高、甲子園予選で初の準優勝



1987~88年度 RI会長
チャールズ C.ケラー
(米国・カリフォルニアRC)

【RIテーマ】



ロータリーアン= 奉仕に結束&和に献身

会 長	: 前木 繁孝	副 会 長	: 大浜 一郎	幹 事	: 前原 博一
副 幹 事	: 宮城 早人	SAA・出席	: 遠藤 正夫	情報・会報	: 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroary@ninus.ocn.ne.jp

— . . . — **第2736回 2017年2月22日(水) 例会報告** — . . . —

- 司会進行：我那覇 宗広
- ロータリーソング：奉仕の理想・四つのテスト
- ソングリーダー：南波 正幸
- ゲスト：福里浩介氏(沖縄日野自動車㈱代表取締役)
櫻井浩一氏(㈱八重山健康倶楽部テニスタ代表取締役)
- ピジター：春日部西 RC⇒三輪 俊行氏
中野 重雄行氏・岩上 暢夫氏・大東 悦巳氏
千葉 和枝氏・呉 誌敏氏(米山奨学生)
那覇 RC⇒長山 宏氏・津嘉山 伸氏
- メイクアップ：小林昌道・新 賢次・宮良榮子
遠藤 正夫・宮良 幸男

■出席報告

会員総数 38名 出席義務会員 37名
出席数 21名 欠席数 16名
出席率 56.76%(2月通算出席率 63.96%)

 **本日のここここ**

	小 計	累 計
BOX	¥24,000	¥180,000
コイン	¥3,465	¥111,764
合 計		¥291,764

- 本日は日野自動車社長福里様卓話ありがとうございました。又、那覇 RC から春日部西 RC からのメイキャップありがとうございました。(前木 繁孝)
- 春日部西ロータリークラブの皆様メイキャップありがとうございました。(南波 正幸)
- 春日部西ロータリークラブ及び米山奨学生の呉様、石垣 RC へようこそ Welcome (仁開 一夫)
- 本日はよろしく願い致します。(春日部西 RC)
- 福里社長、本日は沖縄本島から来て頂き、有難う御座いました。(大濱 達也)

会長挨拶：前木 繁孝

2月 はロータリーにとって意味のある特別な月です。1905年2月23日ポール・ハリスたちはロータリーとして初めての集会を行いました。寒いシカゴの冬、窓の外では寒風が吹いている、赤々と燃える暖炉を横目にしながら4人の仲間は夜遅くまで語り合ったと言います。その日がまさにロータリーの設立の日となりました。それから112年、この石垣の地においても活発なロータリー活動が行われています。我が石垣ロータリークラブ設立記念日は来月3月12日ですので、その週にケーキで誕生祝をしたいなと思っております。さて、早いもので本日で2月の例会が終了です。

本日はいつもより賑やかに、例会を開催できることをとてもうれしく思っています。ゲストとして来月入会する櫻井さん。そして那覇から2人、春日部西 RC から6人の皆さんがメイキャップにお越しいただきました。特に春日部西 RC におかれましては、石垣市長の奥様が春日部出身と聞いております。その縁もあってでしょうか、当クラブは懇意にさせて頂いております。そして米山奨学生の呉誌敏さんにおいて頂いております。米山奨学生の方は日本全国にたくさんいらっしゃいます。外国から留学して勉学に励んで、そして本国に帰って日本の良さを伝える役目を担っていると思います。呉さんもこの3月で卒業したら香港に戻られるということですので、ぜひ春日部の良さ、日本の良さ、そして石垣の良さをたくさん伝えてほしいと思います。この石垣は香港直行便がありますので、また来島して下さい。たくさんの方を石垣に招聘してもらえようをお願いしたいと思います。

本日のゲストのご紹介をしたいと思います。沖縄日野自動車の福里社長にお越しいただきました。那覇よりわざわざ馳せ参じて頂きました。本日のテーマとして私たちが最も関心のある事業継承についてのお話です。自分の会社をどうやって後身に引き継ぐのか、あるいは先代からどうやって自分が引き受けるのか、皆さん関心があると思います。今日は目と耳の離せない30分になりそうです。よろしく願い致します。

米山奨学生：呉 誌敏氏



本日例会にお招きいただきありがとうございます。私の世話クラブは春日部西 RC で、学校は埼玉県にある獨協大学です。今は大学4年生で、間もなく卒業して香港に帰って就職致します。大学の専攻は経営学です。来月香港に帰って父の会社を手伝います。会社を拡大することが夢なので、日本に留学して日本の独自の素晴らしい経営を勉強して、知識を身に着けたいと思っています。3日間石垣を観光しました。初めての石垣なので、

すごく楽しかったです。私はシティーガールなので、街でショッピングするのが一番好きだと思っていましたが、昨日ジャングルクルーズの観光をして、大自然はやっぱり素晴らしいなと思って、大自然も私に合うのではないかと思いました。本日は本当にありがとうございます。

ゲスト卓話：福里 浩介氏

沖縄日野自動車(株)・南海自動車(株)
代表取締役



～事業継承について～



私は戦後の昭和 24 年、与那国島で生まれました。敗戦にともなって日本政府の機能が混乱している中、日本の最果ての地であります与那国島、逆にその立地条件の良さから密貿易の島とも言われておりました。言い換えれば今で言うフリーゾーン、自由貿易、島自体がそういう地域だったと聞いております。その密貿易のお蔭で、島はかなり繁盛しておりました。当時の人口は 1 万 5 千から住所を持たない方を合わせると 3 万くらいいたんじゃないかという話も聞いております。私の父はその密貿易で昭和 25 年に一攫千金を狙って、香港に渡るまでは消息は分かっていますが、それ以降行方不明になりました。もちろん私は生まれたばかりですので、顔も全く記憶にございません。その仲間が石垣の方含めて総勢 11 名くらい、帰らぬ人になったという事であります。そのような状況で私は 5・6 歳で沖縄本島にいる父方の大叔父に引き取られました。

沖縄日野自動車には昭和 50 年 7 月に職員として入社しました。50 年後半には離島振興策が始まり、建設機械の販売とかが大変好調でした。特に石垣は空港建設の話も出ておりましたし、石垣、西表、与那国、そして宮古島を頻りに訪問するようになっていました。そして昭和 58 年に平得に八重山営業所を作りまして、初代所長として石垣島に関わりをもつようになりました。八重山生コンさんの先代の社長の米盛松さん、石垣生コンの大濱正良さん、丸尾建設の丸尾進さんとか、宮古では大米

建設、当時は宮古交通の下地米一社長、それから先嶋建設の福里一郎さん、そういう大先輩方に可愛がられて、仕事を通して色んなことを教えて頂きました。特に当時は米盛社長と丸尾社長には商売の厳しさというか、とにかく値切るのが上手いんです。私はそれを了解して帰ると、よく当時の社長からこっぴどく怒られましたが、石垣島の発展のためには少しでもプラスになったんじゃないかなと思います。また当時ほとんど酒は飲めませんでした。石垣が生んだ酒豪、当時共立生コンの与那覇明長さん、西里建設の西里正夫さんという、そして荷川取そば屋の荷川取さん、この方々に夜な夜な呼ばれて酒を飲まされて酒を覚えることができました。

それからゴルフは当時太平洋クラブというのがありまして、市内からゴルフ場までは 15 分の距離でした。沖縄で一番芝のきれいなガラスのグリーンと言われまして、4 パッド、5 パッドはたまにありました。残念ながら今は空港になっています。そのゴルフでは伊良部碎石の伊良部金助さんという方、そして当時クラブ浜という飲み屋がありまして、その小浜哲雄さんという、超ベテランの方々からゴルフを教えて頂きました。そのゴルフ場が今は島内にはございません。大変残念です。その楽しみがなくなって石垣に来る回数も極端に減りました。ぜひ石垣島にゴルフ場を造って頂きたいと思います。そうすれば私だけでなくゴルフを愛する方が、大勢お見えになるんじゃないかと思えます。

それ以外の遊びに関しては先嶋建設の伊良部勲さん、共和産業の下地義治さんとか、荻建設の荻堂盛輝さんとか、いろんな方々から仕事以外の遊びまで教えてもらいました。花札、マーじゃん等、一通り石垣島で教えて頂いたんです。私は石垣で育てられたなという想いでいっぱいです。あれから数十年になります。ご健在の恩人の方もいらっしゃると思いますが、今お名前を挙げた方の中でほとんどの方が二代目、三代目に後を託されて旅立たれております。

今まで多くの県内の企業含めて、トップの皆さんとお会いする機会がございました。その中で事業継承の難しさを身近でお話を聞き、いろんな悩みを聞いた事がございます。特に直系への事業継承という問題点など、いろんな事を垣間見ておりますので、触れたいと思います。

ある県内の某、大手の企業になっておりますが、創業者の方が息子さんに「お前より能力のある人に社長は任せて、お前は会長になりなさい。資本

と経営を別にしなさい」と言われたんです。その某企業はその通りに実践されて、今では県内有数の企業に育っております。もしあの時創業者の言う事を聞かないで、息子が事業を継承したらどうなっていたか、息子さんは私より1期先輩なので遊び仲間でありまして、良く知っています。大変頭の良い、人の良い人なんですけど、おそらくこれだけの企業に育てるのは難しかったと思います。その時の創業者の決断力はすごいなと思います。

また県内を代表する4大偉人と言えば、オリオンビールを創業された具志堅宗精会長、國場組の國場幸太郎会長、大城組の大城鎌吉会長、大東糖業や琉球セメントなど創られた宮城仁四郎会長がおられます。沖縄県は何かにつけてこの4大偉人のお蔭です。野が広がった方がほとんどじゃないかと思えます。いずれもこの4大企業は直系の方が継いでいないんです。創業者が偉大なだけにいろんな事があったんじゃないかと思えます。

沖縄日野自動車も昭和32年に創業していますが、私の前社長まで創業家の会社でした。私が社長になった時は、債務超過で創業グループの子弟の皆さんは「お前に任す」と言う事で、株を渡して辞められたんです。大変厳しい状況にあり、追い打ちをかけるように昭和59年、60年の初めに大型の倒産がありました。沖縄県内でも有数の建設機械の沖縄玉城TCM、玉城金五郎さんという方ですが、かなりの債権を抱えて倒産いたしました。当社も約10億近く全く一銭も回収できないまま大変な目に合いました。その債権処理も、つい4・5年前までなかなか処理できなくて、厳しい状況が続きました。当時社長に指名された時に、なぜ私かという事を自問自答しました。私もまだ40代でしたので、まさか私かと思っておりました。当時の社長と私は折り合いが悪くて、社長は独断専行型でいろんな事をやる大変行動力のある方でしたが、会社の身の丈に合った事をやればいいのですが、なかなかそれが上手いかない、私も一役員として提言する事は提言していたら、とても疎ましく思われたり、色んなことがありました。この方の口癖は「お前にだけは社長はさせたくない、後継者にはしたくない」と言っておられました。退任される時には「仕方ないからお前に任せる」となったわけです。前社長は「自分の一生の不覚はお前を社長にしたことだ」と、未だに公言してはばからないです。言われた方は心は痛いし、腹が立ちます。でも逆になんとかしようという気になりました。当時は私の他にも引き継ぐ方々が何名かおられましたけど、社長が私に事業を託され

たという事は、苦渋の選択だったのではないかと思います。会社を残すための選択をしたのだと思います。

今現在の沖縄日野自動車は全社一丸となって取り組んだ結果、私が社長になって16年余りになりますが、約12億余りの不良債権を処理して、当時から比べると売り上げは3.5倍くらいの、去年は67億の売り上げでございます。社員数も約2倍半になりました。それから関連会社も2社あります。

また最近新聞に取り上げられましたが、沖縄の産業まつりにも出品いたしましたけど、沖縄県内になんとかもの作りで地場産業を興してみたいという思いに駆られております。トラックと言うのは運転台と車種がございます。その上はドラムを作るとミキサー車になりますし、箱を作ると平ボディになりますし、クレーンを付けるとクレーン車載車になります。それを沖縄県内の技術で出来ないかという事で、カヌチャリゾート内で今走っております周遊バスを沖縄県ものづくり財団と沖縄日野自動車、カヌチャグループとタイアップしまして、沖縄で第1号のコミュニティバスを作りました。最高の出来でございます。業界でも非常に評判になっておりまして、自分も作りたいとリゾートホテルから引き合いがありまして、今作業に取り組んでいる最中でもあります。ぜひこれは雇用にも繋がりますし、地場産業を興すことによって、若い人がたくさん残りますので、ぜひ実践していきたいと、私の最後の仕事はこれかなと思っております。

今にして思えば前社長の屈辱的な言動、言葉と言うのはトップとしての教育だったのかなと、良い方に思うようにしております。引き継いだ事業、これを営々と継続していく難しさは本当に大変だなと思えます。これからは色んな困難が待ち構えているかもしれませんが、とにかく全力で体当たりしていきたいなと思えます。

当社には長年私と一緒についてきた幹部の皆さん、また社員そして外部からは最近見えましたが銀行から何名か入っております。素晴らしい社員が最近多く入りました。また私がメーカーに預けた息子がおります。やがて10年くらいになりますが、一向に帰る気配がありませんが、いずれそういう志があれば継いでもらいたいなと微かな望みはありますが、決して無理強いするつもりはありません。継承時に自分の身を重んじるか、会社の存続を重んじていくかという所を私が実践で行動してみようと思っております。